

# 日本に引き揚げの前後

亀山茂弘さん

日本の敗戦時、陸軍軍人の私はソ連軍の捕虜<sup>(1)</sup>となり、中国東北部（旧満州）の延吉収容所に収容され、使役<sup>(2)</sup>に従事していた。翌年の春に、身体検査の結果、私達のように痩せ細った者は中国軍に引き渡され、貨物列車で移送され、四平という街に到着した。この時に、耳をつんざく鉄砲の響きで中国軍と国府軍が内戦の真ただ中であることを知り、使役に従事して犬死すれば野獣の餌になるだけだと思い、逃走を重ね病魔に侵されていたところ、公主嶺<sup>(3)</sup>の日本居留民団に救護された。

2か月後、民団が日本引揚命令を受けたので仲間入りさせてもらい、無蓋<sup>(4)</sup>列車で錦州を通りコロ<sup>(5)</sup>（葫芦）島に到着した。埠頭<sup>(6)</sup>において数度の身体検査を受け、岸壁に係留されている日本の引揚船に向かった。この時、多くの歩哨<sup>(7)</sup>の前を通り抜けるのだが、呼び止められ乗船拒否されると帰国の目途が無くなるのでひやひやしていた。日本船に乗船すると、「お帰りなさい。」という優しい言葉に安心感が込み上げ涙が滲み出た。

船中で数日後、「日本が見える。」という叫び声で多くの人がデッキに上がり周りを見ると、点在している美しい島々、「箱庭のような。」と歓声を上げて喜び合う。

船は佐世保港に入港（昭和21年8月31日）。引揚援護局で帰国の手続きを終え、翌日各自は帰宅のため国鉄佐世保駅に向かった。道中米兵と若い日本女性のにこやかなアベック姿を見ると複雑な気になる。また、道中道端で売っている美味しそうな饅頭<sup>(8)</sup>を見て2個買い、さつま芋<sup>(9)</sup>の蔓で拵<sup>(10)</sup>えたあんころであるが、久しぶりに食べる饅頭の味は甘くて頬が落ちるほど美味しく感じられた。

汽車に乗り本籍地の倉敷市玉島に向かう。車中から眺める都市は空襲で焼け野原になり、バラック<sup>(11)</sup>が点在している。金光駅で下車し、2キロほど歩いて玉島の叔父の農家に到着した。叔父夫婦は、痩せ細き体に中国服姿の私を見て喫驚<sup>(12)</sup>したが、親切に扱ってくれた。従兄弟で郵便局員と石工職人の消息を尋ねると、「2人の息子は白布で包まれ

た木箱<sup>(7)</sup>の中で帰ってきました。」と叔父夫婦は話して涙顔になる。

2 か月ほど保養すると健康を回復し，11 月から笠岡市の干拓工事に従事する。私は学生時代，岡山市駅元町内で下宿していた。関西中学校時代を回顧し，昭和22年の桜の花が咲き始めた4月に汽車で岡山駅に向かった。市内は米軍の空襲で焼け野原になっているが，小さなバラック建が連なっている。駅前<sup>(8)</sup>で14，5歳の子供が，4，5人通行人を呼び止め靴磨きをしている。聞くと，空襲で家や家族を失い街頭でくらすようになり，靴磨きをして駄賃<sup>(8)</sup>をもらい生活している戦争犠牲者であると判明した。駅前の闇市に足を入れると，衣類や白米の御飯や豚汁など多くの品が手に入るが値段は高かった。

昭和21年3月3日に物資不足，食糧難時代に経済秩序を維持する目的で物価統制令<sup>(9)</sup>の勅令が施行された。主食の米麦，衣類，油など多くの品々が配給制度の時代であった。食糧難の折から，岡山県内には，姫路・大阪方面から食料品の買出しの人が殺到し，午後からの上り列車は食料品の米類が担ぎ込まれ混雑していた。一般買出し人は両手で掲げるほどの荷物を運搬しているが，悪質ブローカー<sup>(10)</sup>になると，1人で1包<sup>(11)</sup>(1斗入り白米)の紙袋を4，5個，他人の迷惑も考えずに乗客の座る座席の下に押し入れる横暴者もいた。岡山駅西口駅元町に回り，私が学生時代に下宿していた跡地に足を踏み入れ消息を聞いたが確証を得ることは出来なかった。

戦争に巻き込まれ，被害を被るのは一般市民である。人類の敵は戦争である。世界ではイデオロギー<sup>(12)</sup>，宗教や民族などが<sup>もつ</sup>纏れ合い，激しく対立が続き，戦争となる兆しが絶えることがないのが残念で堪えられない。

- .....
- 1 捕虜...戦争などで敵に捕えられた人。
  - 2 使役...人を使って何かをさせること，働かせること。
  - 3 無蓋列車...屋根のない貨車。
  - 4 歩哨...兵営・陣地の要所に立って，警戒・監視の任にあたること。また，その兵。
  - 5 バラック...急造の粗末な建物。仮小屋。
  - 6 喫驚...驚くこと，びっくりすること。
  - 7 木箱の中...戦死した。戦死した兵士の遺品・遺骨は木箱に収められ家族のもとに送られた。戦況が悪化するにつれ，遺品を収めることができず空の木箱が返ってくることもあった。

- 8 駄賃...、簡単なことを頼んだときに、その労力に対して与える賃金。
- 9 物価統制令の勅令...闇市などで物品が不当に高騰することを防ぐために制定された法令。
- 10 ブローカー...売買を仲買する人。
- 11 斗...容積の単位。1斗は10升，約18リットル。
- 12 イデオロギー...思想の体系・傾向，物の考え方。